

# 都立品川特別支援学校 高年齢のみなさんとお楽しみ交流会

中学部【全校児童・生徒数：181人】

教育課程上の位置付 生活単元学習

## 実施概要

高齢者施設訪問による活動は、今回が初めてです。中学部3年生20人が施設を訪問し、3階の集会室で利用者と交流活動を行いました。始めに、生徒が1曲合唱した後、鳴子を使って踊りを披露し、2回目は利用者も鳴子を鳴らして参加しました。次に、生徒と利用者混合の5グループを作り、車座で自己紹介や食べ物の好み、趣味などを紹介し合い、全員で合唱をしました。

最後は、生徒は整列して全員で合唱し、活動を終了しました。

**活動参加者** 当校 生徒…20人 担当教員…7人  
**内訳** 交流先 参加者…11人 担当職員…7人

**交通手段** 当校と品川区立東大井地域密着型多機能ホームとの距離はおおよそ700m  
徒歩で訪問 約10分



鳴子踊りは利用者も鳴子で参加

## 活動報告 実施日：11月1日(木)

始めに、生徒が1曲合唱した後、生徒は鳴子を用いて「この地へ」を踊り、2回目は利用者も鳴子を鳴らして参加しました。

生徒と利用者が混合でグループごとに行う「お話しタイム」では、自己紹介の際、あるグループの利用者が「カレーライスが好き」と言うと、「僕も」、「私も」と生徒が声を上げ、笑顔があふれていました。その後、振り付きで「しあわせなら手をたたこう」を合唱し、「ふるさと」も全員で合唱しました。最後の「語り合おう」の合唱が終わると、利用者からアンコールがあり、「上を向いて歩こう」を全員で熱唱しました。

終了時に、生徒は利用者と一緒に握手をしました。名残り惜しそうに笑顔で涙ぐむ利用者の姿も見られました。

### 当日のスケジュール

- 13:30 学校、施設・団体、SSC、都教委4者事前打合せ(集会室)
- 13:50 生徒到着後準備(スタンバイ)
- 14:00 始めのことば(生徒代表)  
生徒による歌と踊りの発表  
・歌「上を向いて歩こう」  
・鳴子を使って踊り「この地へ」(2回目は利用者も鳴子で参加)
- 14:15 グループで楽しもう(生徒と利用者混合の5グループを形成)  
・お話しタイム(自己紹介的なもの)  
・「しあわせなら手をたたこう」(振りを入れて)  
・みんなで歌おう「ふるさと」
- 14:45 感想(生徒・利用者)  
おわりの歌「語り合おう」(アンコール「上を向いて歩こう」)  
おわりのことば(生徒代表)
- 15:00 終了後、後片付けをして学校に移動

### ■活動のために準備したもの

- ・掲示用プログラム(生徒作成)
- ・配布用歌詞カード(表紙の装飾、イラストは生徒作成)
- ・名札(グループごとに色分け)と自己紹介カード、伴奏CD

### ■工夫したところ

- ・発表の曲、グループ活動で利用者の方と一緒に活動できる曲、みんなで歌える曲など、場面に合わせた選曲をするようにしました。
- ・グループに分かれた時に、自己紹介と一緒に活動できる曲を入れることで、利用者の方と親近感をもって交流できるようにしました。

### ■実施にあたって注意したところ

- ・生徒が無理なく活動できるように、音楽の授業で取り組める内容を中心に計画しました。
- ・グループ活動が安全かつ円滑に進められるような生徒・教員の組み合わせを検討しました。

### ■良かったと思うところ

初めての場所で緊張した様子が見られましたが、落ち着いて発表や利用者の方々と関わることができ、温かい拍手や言葉かけが、一人一人の自信や達成感・充実感につながったと感じています。

### ■今後に向けての学校からの抱負

今回の体験は生徒たちにとって、「いろいろな人と交流する」、「誰かの役にたつ(ありがとうと言われる経験をする)」ということを学ぶ良い機会だったと思います。

今後も、「また誰かの役にたたい、喜んでもらえる活動をしたい」という意欲を育み、生徒が「うれしい」、「よかった」と実感できる活動に、継続して取り組んでいきたいと思っています。

当校は、小学部・中学部を設置する知的障害特別支援学校です。開校して8年目を迎えました。

当校では、学校周辺の社会資源(地域の商店街など)を積極的に活用して授業を展開し、児童・生徒一人一人の自信につなげて行くよう地域との連携を図っています。社会貢献活動は、就業体験の一環として地域の公園の清掃などを行っています。

## 活動の感想

### 生徒・教員の感想

#### 生徒

- ・自己紹介で利用者の方の「新聞が好き」の話にびっくりしました。アンコールで「上を向いて歩こう」をみんなで歌えてうれしかったです。
- ・利用者の方とタッチや手をつないで活動したのが楽しかったです。
- ・おばあちゃんが優しくかったです。握手して「しあわせなら手をたたこう」を歌ったのが楽しかったです。
- ・踊って、喜んでくれていたのがうれしかったです。

#### 教員

初めは、緊張と戸惑いで表情が硬かった生徒も、時間と共に表情も和らぎ、のびのびと踊ったり、歌ったりする様子が見られました。グループ活動では、利用者の方々に積極的に関わり、「しあわせなら手をたたこう」で、一気に距離感が縮まったように感じました。アンコールでは、別れを惜しむかのように、利用者の方々と握手をしてまわる生徒の姿が印象的でした。「楽しかった」、「喜んでくれた」、「うれしかった」などの感想からも、生徒の心に残るよい経験ができたと思います。

### 施設の参加利用者・担当者の感想

#### 利用者

- ・子供たちが伸び伸びして、一緒に歌えて楽しかった。
- ・汗をかきましたが、エネルギーをもらいました。また来てほしいです。
- ・感激してとてもうれしかったです。孫と遊んでいるようでした。

#### 施設長

初めに生徒さんが部屋に入ってきた時は緊張していた様子でしたが、帰るときには笑顔で手を振っていました。一緒に歌を歌い、話し、利用者の一人が「元気もらった、長生きするよ」と言っていたのは、きっと精一杯歌い、一生懸命に話す生徒さんの気持ちが生きる力になって利用者に伝わったのだと思います。

### ■実施までの経過 ※(コ):コーディネーター

- 6月28日 (コ)、当校にて校長、副校長、担当教員を交え、施設選定の打合せ(コ)、施設を訪問。施設長に趣旨を説明(応諾の可否は後日確認)後日、電話にて施設長より活動受入れ了承を確認
- 7月6日 (コ)、施設を訪問。施設長に改めて実施内容を説明、施設長快諾。会場を下見
- 8月28日 (コ)、副校長、担当教員と施設を訪問。会場確認、活動内容の打合せ

### 交流先

## 品川区立 東大井地域密着型 多機能ホーム

住所:東京都品川区東大井5-8-12

### ■施設概要

- ・ケアホーム東大井(ケアハウス) 定員29名
- ・グループホーム東大井(認知症対応型共同生活介護) 定員9名
- ・東大井倶楽部(小規模多機能型居宅介護) 登録定員25名(泊り8名・通い15名)



「上を向いて歩こう」馴染みの歌で笑顔に



グループで「しあわせなら手をたたこう」!

